

モジュール実装ガイド

Meridian II Precision TimeBase / Tycho II Precision TimeBase

この文書は Meridian II と Tycho II にモジュールを実装する手順を説明しています。オプションモジュールは スロット1 から 5 にインストールします。背面から見て左からスロット1から5にオプションモジュールを実装します。図1に示すように、CPUモジュールが一番左にあります。その隣がスロット1で4つのBNCコネクタモジュールがインストールされています。スロット2と3は1スロットフィラー(ダミーパネル)がスロット4と5にはダブル幅のスロットフィラーが実装されています。オプションモジュールはホットスワップではありませんが、モジュールの多くは Plug-and-play で動作します。

注記：発振器オプションモジュールは工場出荷時の位置から動かすことはできません。冗長化電源オプションはスロット 4 か 5 にのみ実装できます。オシレータ関連と電源のモジュール以外は関連のオプションは現場で実装できます。

モジュールを扱う際は、アルミ製キャリアだけに触れるようにして下さい! プリント回路基板や電子部品に触れると静電気により恒久的なダメージを与える可能性があります。モジュールをインストールする前に、まずモジュールを持っているのと反対の手でユニット本体に触れるなどして帯電した静電気を逃し、モジュールと体とユニット本体を同電位にしてください。

STEP 1

電源ケーブルを抜き、ラックからユニットを取り外します。図1に示すように、モジュールないしフィラーパネルの上下のネジを外します。モジュールないしフィラーパネルを本体の真後ろに引き抜きます。ほとんどのオプションモジュールはどのスロットにもインストールできます。例外は発振器、LPN(下記注意次項参照のこと)、サイン波(下記注意次項参照のこと)のモジュールです。

注記： LPN (低位相雑音) あるいはサイン波モジュールは隣接するモジュールにジャンパーケーブルで接続されています。そのため、発振器モジュールないしは LPN/サイン波モジュールの隣にインストールされます。これらはジャンパーケーブルで接続されていますので、新たに LPNないしサイン波モジュールを実装する際はすべてのすでに実装されている発振器モジュールとLPN/サイン波モジュールを引き抜かねばなりません。

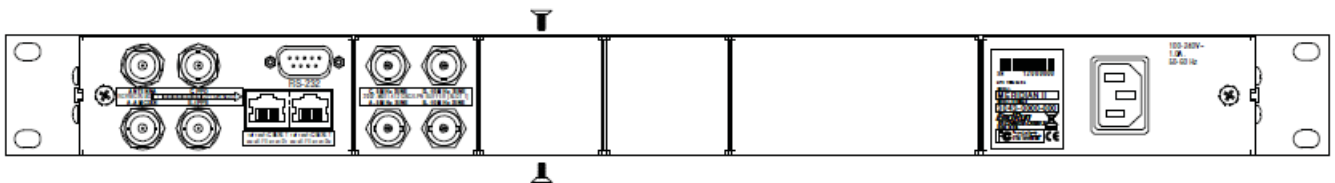


図 1. モジュールを実装する前のユニット背面

STEP 2

図2に示すように、オプションモジュールをスロットに差し込みます。モジュールを水平に保ち筐体の底板内側に完全に触れるようにしてスロットにスライドさせます。モジュールが筐体の底板内側に触れていることを確認しつつ、しっかりと筐体内のコネクタに差し込みます。

注記：LPN/サイン波モジュールにはジャンパーケーブルが付属していますので、下位番号スロットの J3 コネクタ (CASCADE OUT) と上位番号スロットの J5 (CASCADE IN) を接続した上で、すべてのジャンパーで接続されたモジュールを同時にスロットに差し込みます。

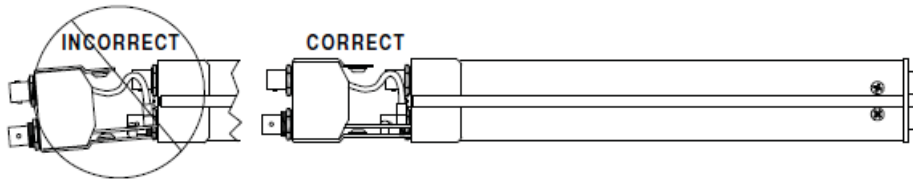
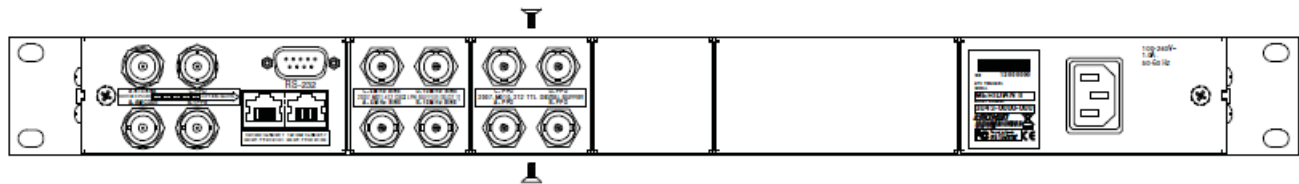


図2. モジュール挿抜時は水平に

STEP 3

図3に示すように、上下のネジでモジュールを固定します。



以上